

【収益的収入】

単位:千円(税抜)

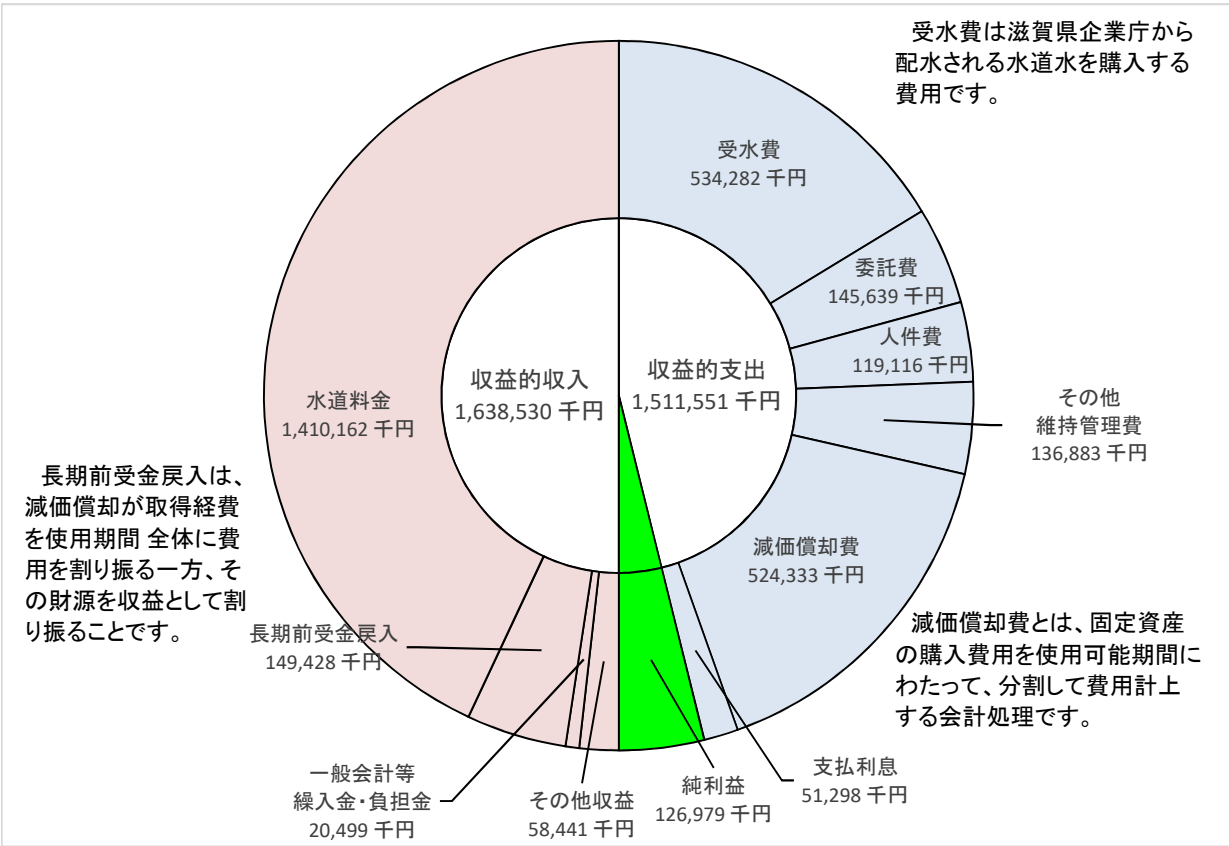
	令和4年度		令和5年度		比較増減	対前年度比
	金額	構成比	金額	構成比		
水道料金	1,425,495	86.5%	1,410,162	86.1%	△ 15,333	98.9%
受託工事収益	3,428	0.2%	3,032	0.2%	△ 396	88.4%
一般会計繰入金	5,492	0.3%	8,801	0.5%	3,309	160.3%
他会計負担金	13,050	0.8%	11,698	0.7%	△ 1,352	89.6%
受取利息及び配当金	770	0.0%	845	0.1%	75	109.7%
長期前受金戻入	149,525	9.1%	149,428	9.1%	△ 97	99.9%
雑収益	12,246	0.7%	10,427	0.6%	△ 1,819	85.1%
その他	37,088	2.3%	44,137	2.7%	7,049	119.0%
合計	1,647,094	100.0%	1,638,530	100.0%	△ 8,564	99.5%

【収益的支出】

単位:千円(税抜)

	令和4年度		令和5年度		比較増減	対前年度比
	金額	構成比	金額	構成比		
人件費	125,494	8.4%	119,116	7.9%	△ 6,378	94.9%
受水費	536,022	35.9%	534,282	35.3%	△ 1,740	99.7%
委託費	135,476	9.1%	145,639	9.6%	10,163	107.5%
その他維持管理費	114,813	7.7%	136,883	9.1%	22,070	119.2%
動力費	38,345	2.6%	31,320	2.1%	△ 7,025	81.7%
修繕費	17,084	1.1%	26,908	1.8%	9,824	157.5%
受託工事費	2,683	0.2%	6,458	0.4%	3,775	240.7%
その他	56,701	3.8%	72,197	4.8%	15,496	127.3%
企業債利息	51,919	3.5%	51,298	3.4%	△ 621	98.8%
減価償却費	530,685	35.5%	524,333	34.7%	△ 6,352	98.8%
合計	1,494,409	100.0%	1,511,551	100.0%	17,142	101.1%

純利益	152,685		126,979		△ 25,706	83.2%
-----	---------	--	---------	--	----------	-------



【資本的収入】

単位:千円(税込)

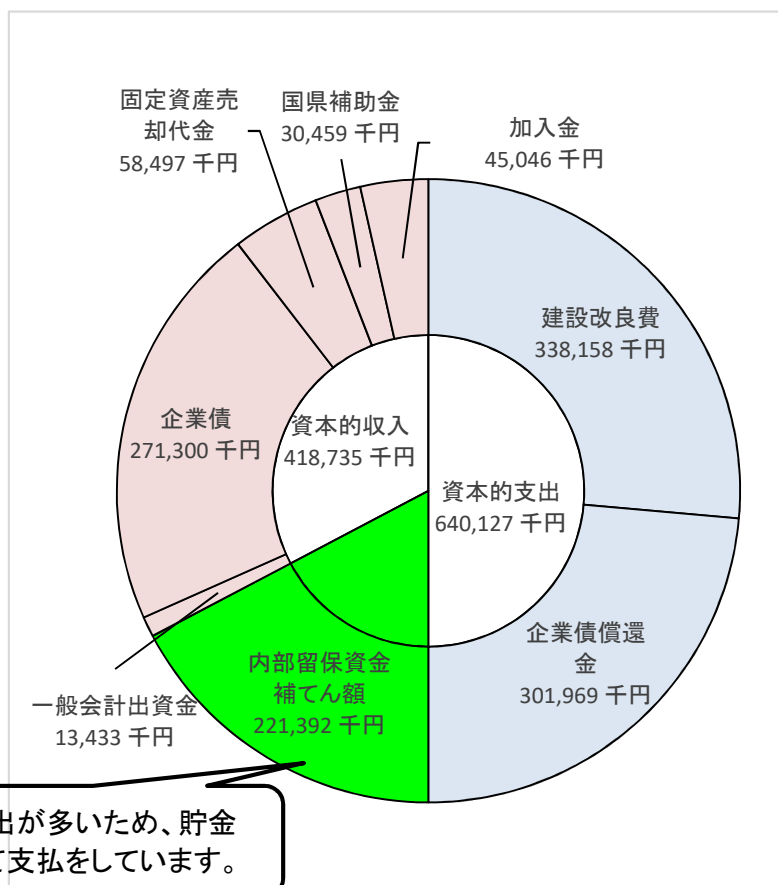
	令和4年度		令和5年度		比較増減	対前年度比
	金額	構成比	金額	構成比		
企業債	421,800	81.1%	271,300	64.8%	△ 150,500	64.3%
加入金	43,041	8.3%	45,046	10.8%	2,005	104.7%
一般会計出資金	5,799	1.1%	13,433	3.2%	7,634	231.6%
国県補助金	49,541	9.5%	30,459	7.3%	△ 19,082	61.5%
他会計負担金	0	0.0%	0	0.0%	0	----
工事負担金等	0	0.0%	0	0.0%	0	----
固定資産売却代金	0	0.0%	58,497	14.0%	58,497	----
合計	520,181	100.0%	418,735	100.0%	△ 101,446	80.5%

【資本的支出】

単位:千円(税込)

	令和4年度		令和5年度		比較増減	対前年度比
	金額	構成比	金額	構成比		
建設改良費	528,163	64.7%	338,158	52.8%	△ 190,005	64.0%
企業債償還金	288,590	35.3%	301,969	47.2%	13,379	104.6%
合計	816,753	100.0%	640,127	100.0%	△ 176,626	78.4%

内部留保資金補てん額	△ 296,572		△ 221,392			
------------	-----------	--	-----------	--	--	--



資料 1-2

令和 5 年度 近江八幡市水道事業損益計算書

(令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 3 1 日)

1 会計期間における経営成績を示すものです。

	円	円	(税抜額) 円
1. 営業収益			
(1) 給水収益	1,410,161,910		
(2) 受託工事収益	3,031,950		
(3) 他会計繰入金	8,800,600		
(4) その他営業収益	44,137,586	1,466,132,046	
2. 営業費用			
(1) 原水及び浄水費	674,807,090		
(2) 配水及び給水費	111,006,042		
(3) 受託工事費	6,458,000		
(4) 業務費	67,014,232		
(5) 総係費	56,494,441		
(6) 減価償却費	524,332,854		
(7) 資産減耗費	6,663,656		
(8) その他営業費用	4,003,411	1,450,779,726	
営業利益 (△は営業損失)			15,352,320

営業収益に水道事業における本業からの収益(水道料金など)を計上しています。

営業費用に水道事業を運営するための費用を計上しています。

機械や設備等を更新した場合に、その残存価格を計上します。

営業収益が営業費用より多いため営業利益が出せています。

3. 営業外収益

- (1) 受取利息及び配当金
- (2) 他会計負担金
- (3) 長期前受金戻入
- (4) 引当金戻入益
- (5) 雑収益

845,307
11,697,965
149,427,357
224,079
10,203,165

減価償却の収入版です。国から補助金を
もらった額などを分割して計上します。

172,397,873

4. 営業外費用

- (1) 支払利息及び企業債取扱諸費
- (2) 雑支出

51,297,774
9,473,401

営業外収益から営業外費用を差し引いた額(A)で

60,771,175

111,626,698

経常利益（△は経常損失）

当年度純利益（△は純損失）

前年度繰越利益剰余金

当年度未処分利益剰余金

126,979,018

令和5年度における利益(営業利益とAの合計)で

126,979,018

502,264

127,481,282

令和5年度 近江八幡市水道事業貸借対照表

(令和6年3月31日)

資 産 の 部

どのくらいの財産や権利、義務があるか示す表です。

1. 固 定 資 産

(1) 有 形 固 定 資 産

	円
イ. 土 地	164,714,730
ロ. 建 物	309,440,018
減価償却累計額	△ 113,760,260
ハ. 構 築 物	22,576,865,346
減価償却累計額	△ 11,223,096,147
ニ. 機 械 及 び 装 置	1,983,577,185
減価償却累計額	△ 1,377,565,500
ホ. 車 両 及 び 運 搬 具	21,549,504
減価償却累計額	△ 19,089,885
ヘ. 工 具 器 具 及 び 備 品	55,906,047
減価償却累計額	△ 34,503,693
ト. 建 設 仮 勘 定	
有形固定資産合計	12,517,128,087

164,714,730

195,679,758

11,353,769,199

606,011,685

2,459,619

21,402,354

173,090,742

これまで工事で作った浄水場などの建設費用から、減価償却した差引額を記載しています。

市内に埋設した水道管(構築物)の工事等費用の合計額から、減価償却した差引額を記載していま

減価償却とは工事などの大きな費用全額を支払った年度に計上するのではなく、使う年数に応じて分割して計上する考え方です。

(2) 無 形 固 定 資 産

イ. 電 話 加 入 権	1,568,057
ロ. 水 利 権	990,000
ハ. 地 上 権	889,416
無形固定資産合計	3,447,473
固 定 資 産 合 計	12,520,575,560

1,568,057

990,000

889,416

牧浄水場で琵琶湖から取水する水利権、円山町地先の配水管部分に関する地上権を計上しています。

3,447,473

12,520,575,560

2. 流動資産

(1) 現金預金

2,747,881,843

(2) 未収金

376,018,928

貸倒引当金

△ 4,526,087

371,492,841

(3) 貯蔵品

14,813,622

(4) 前払金

113,752,000

流動資産合計

3,247,940,306

資産合計

15,768,515,866

水道料金の債権を回収できない損失の危険額を見積もった計上額が多かったため、戻し入れました。

負債の部

3. 固定負債

(1) 企業債

イ. 建設改良等の財源に充てるための企業債

3,610,798,157

企業債合計

3,610,798,157

(2) 引当金

イ. 退職給付引当金

90,061,183

ロ. 修繕引当金

133,412,143

引当金合計

223,473,326

固定負債合計

3,834,271,483

資産を作るためにどのような収入等を使用したか示しています。

4. 流動負債

(1) 企業債

イ. 建設改良等の財源に充てるための企業債

311,960,819

企業債合計

311,960,819

(2) 未払金

276,455,122

(3) 預り金

3,226,445

(4) 引当金

イ. 賞与等引当金

9,627,117

引当金合計

9,627,117

流動負債合計

601,269,503

工事等の費用を支払うために借金をしています。

5. 繰延収益

(1) 長期前受金

収益化累計額

7,738,245,902

繰延収益合計

△ 3,576,320,473

負債合計

4,161,925,429

8,597,466,415

減価償却の収入版です。国から補助金をもらった額などを分割して計上します。

資 本 の 部

6. 資 本 金

(1) 固 有 資 本 金
(引 継 資 本 金)

事業活動の元手となるもので、当初から保有する
固有資本金に加えて、一般会計からの出資金を繰
入資本金として計上しています。

5,131,692,221

(2) 繰 入 資 本 金

375,211,108

(3) 組 入 資 本 金

345,064,840

資 本 金 合 計

5,851,968,169

7. 剰 余 金

(1) 資 本 剰 余 金

0

(2) 利 益 剰 余 金

イ. 減 債 積 立 金

90,100,000

ロ. 建 設 改 良 積 立 金

1,101,500,000

ハ. 当年度未処分利益剰余金

a. 当 年 度 純 利 益

126,979,018

令和5年度における利益です。

b. 前年度繰越利益剰余金

502,264

当年度未処分利益剰余金合計

127,481,282

利 益 剰 余 金 合 計

1,319,081,282

剰 余 金 合 計

1,319,081,282

資 本 合 計

7,171,049,451

負 債 資 本 合 計

15,768,515,866

水道事業概要

給水面積	給水区域内人口	年間総配水量	1日最大配水量
97km ²	81,574人	929万m ³	約27,842m ³

普及率	有収率
99.8%	91.1%

水道施設概要

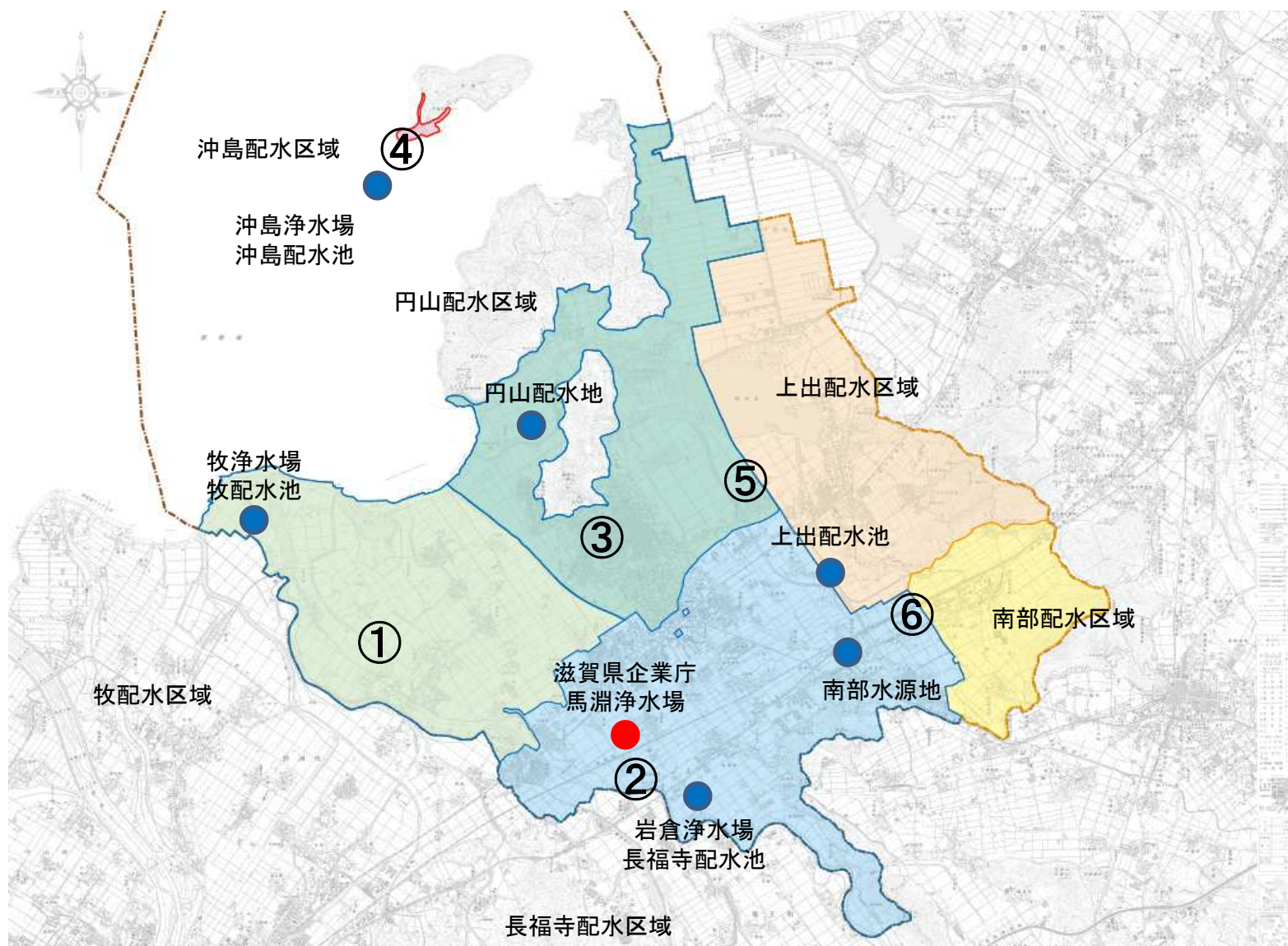
令和6年3月

施設名	原水	処理方法	配水方法	浄水
牧浄水場	表流水(琵琶湖湖水)	急速ろ過	加圧配水	自己水
岩倉浄水場	地下水(浅井戸)	エアレーション	—	—
長福寺配水池	—	—	自然流下	自己水 + 県水
円山配水池	—	—	自然流下	県水
沖島浄水場	表流水(琵琶湖湖水)	急速ろ過	—	—
沖島配水池	—	—	自然流下	自己水
上出配水池	—	—	—	県水
南部水源地	地下水(深井戸)	エアレーション	加圧配水	自己水

総水道管路延長

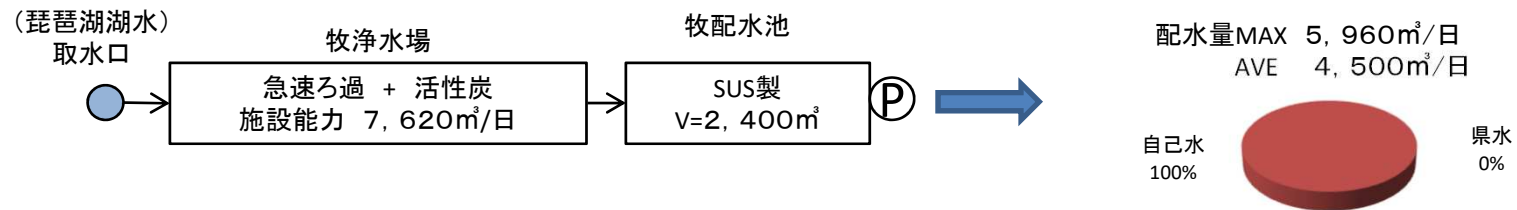
566.31km

水道施設位置図



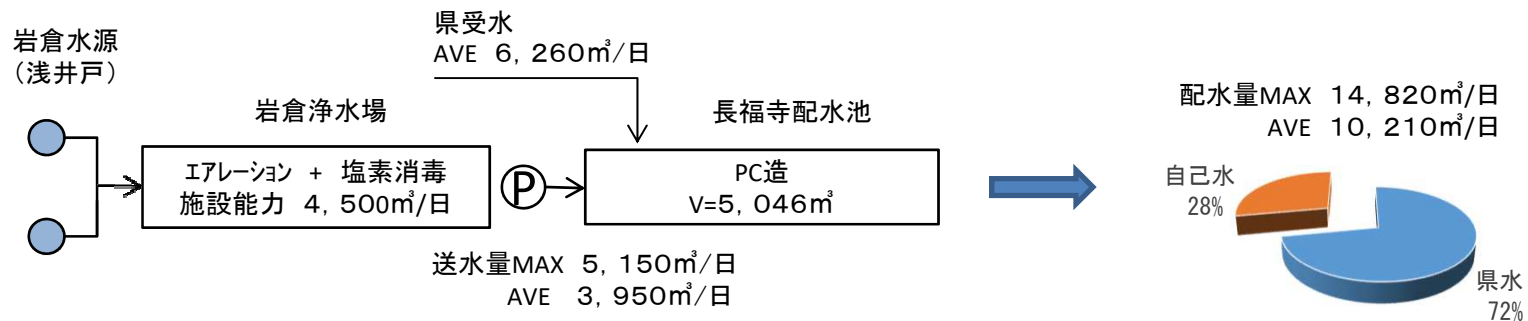
①牧配水区域

施設	供用開始年次	改修年次	現況写真
浄水施設	S40	H9,H23,R2	 
配水池	S40	H23	
機械設備	S40	H9,H23	
計装設備	S40	H9,H23	



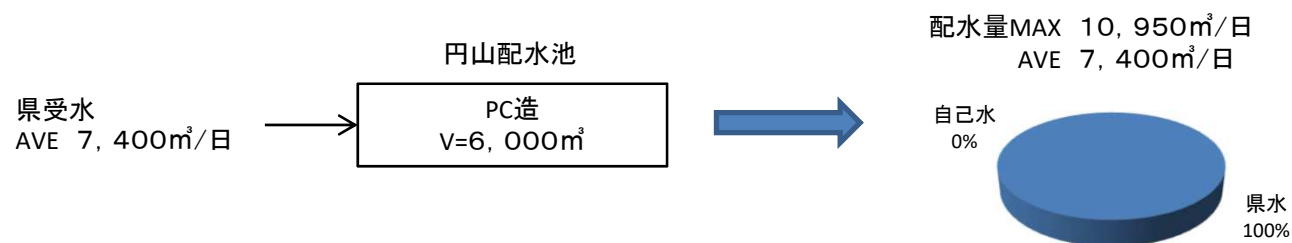
②長福寺配水区域

施設	供用開始年次	改修年次	現況写真
浄水施設	S48	R2	 
配水池	S47	H22耐震補強	
機械設備	S48	R2	
計装設備	S48	R2	



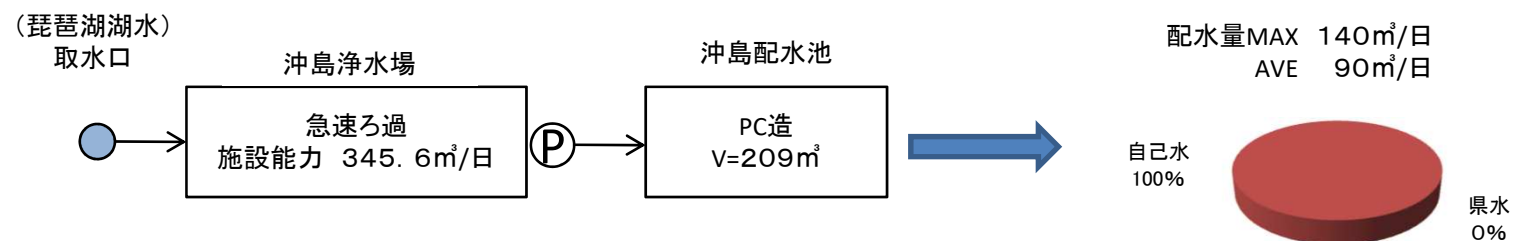
③円山配水区域

施設	供用開始年次	改修年次	現況写真
配水池	S54	R9予定	
機械設備	S54	R9予定	
計装設備	S54	R9予定	



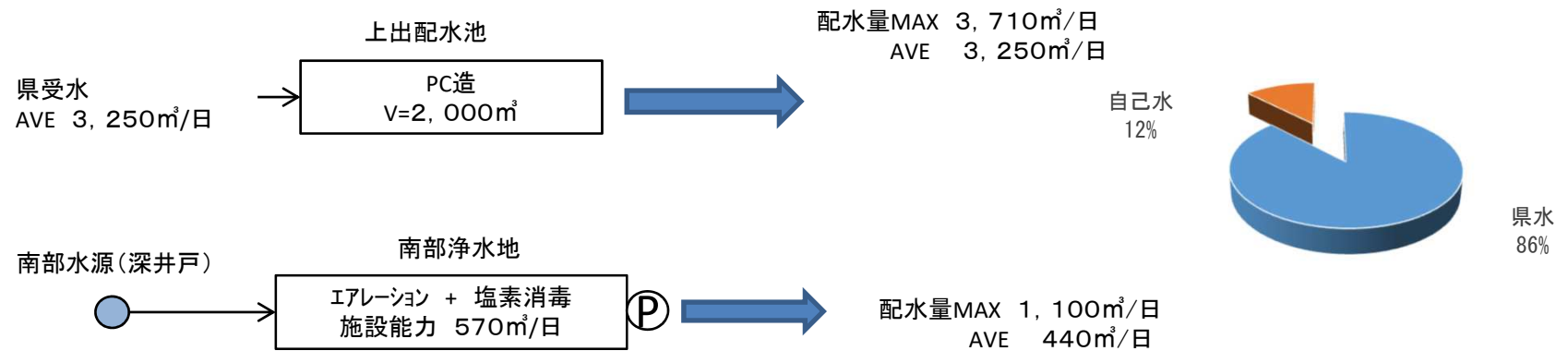
④沖島配水区域

施設	供用開始年次	改修年次	現況写真
浄水施設	S57	未	
配水池	S57	未	
機械設備	S57	未	
計装設備	S57	未	



⑤上出配水区域 ⑥南部配水区域

施設		供用開始年次	改修年次	現況写真
上出配水区域	配水池	S50	H24耐震補強	
	機械設備	S50	H24	
	計装設備	S50	H24	
南部配水区域	浄水施設	S43	S62 設備増加	
	機械設備	S43	R6ポンプ更新	
	計装設備	S43	未	

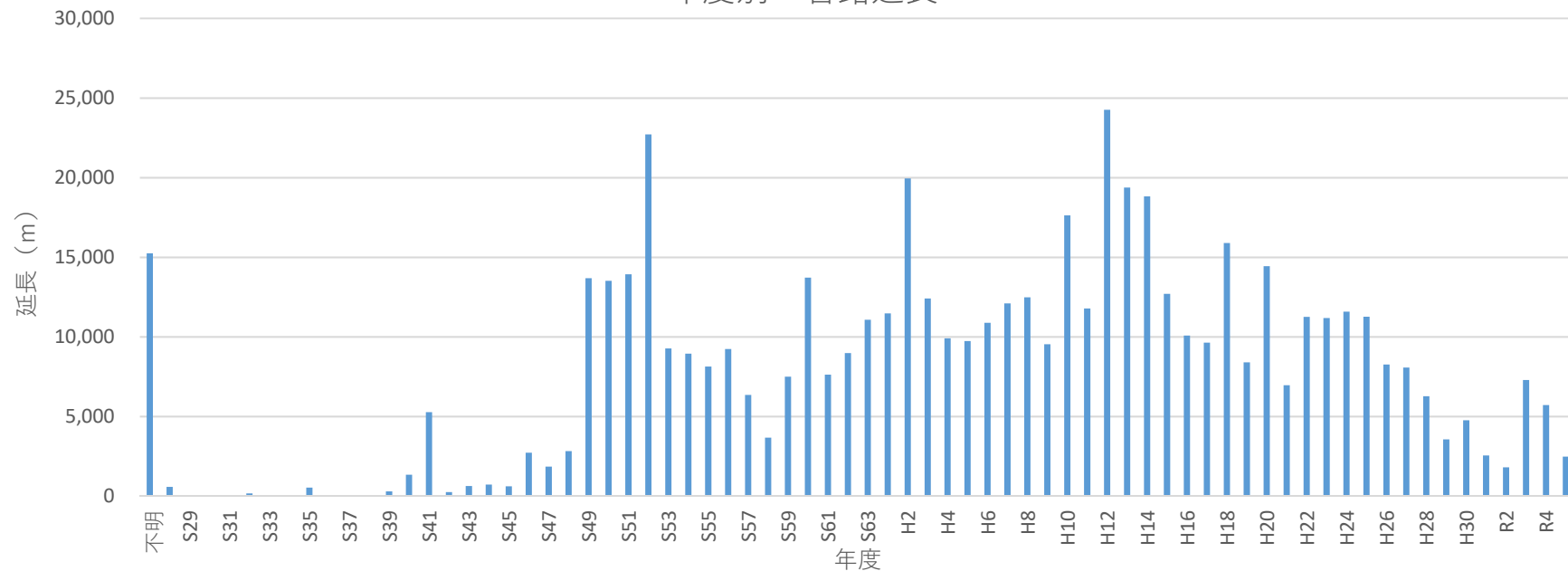


布設年度と管路延長

令和6年3月

布設年度	管路延長 (m)	割合 (%)
～S30	583.98	0.10%
S31～S40	2,477.07	0.44%
S41～S50	42,143.77	7.44%
S51～S60	103,514.76	18.28%
S61～H7	114,174.69	20.16%
H8～H17	146,345.69	25.84%
H18～H27	107,336.78	18.95%
H28～R5	34,490.13	6.09%
不明	15,247.79	2.69%
計	566,314.66	

年度別 管路延長

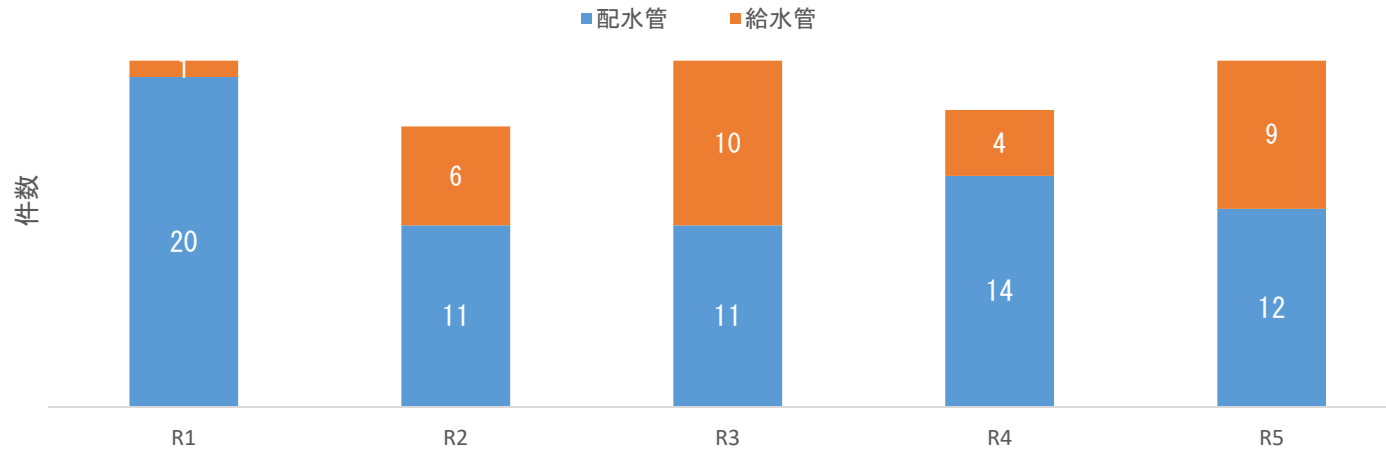


水道管路の耐震化率

令和6年3月

管区分		管路延長(m)	内耐震管延長(m)	耐震化率(%)
基幹管路	導水管	1,403.68	9.60	0.68%
	送水管	1,288.00	0.00	0.00%
	配水本管	18,275.44	643.89	3.52%
配水枝管		545,347.54	96,630.00	17.72%
計		566,314.66	97,283.49	17.18%

水道管路の漏水について



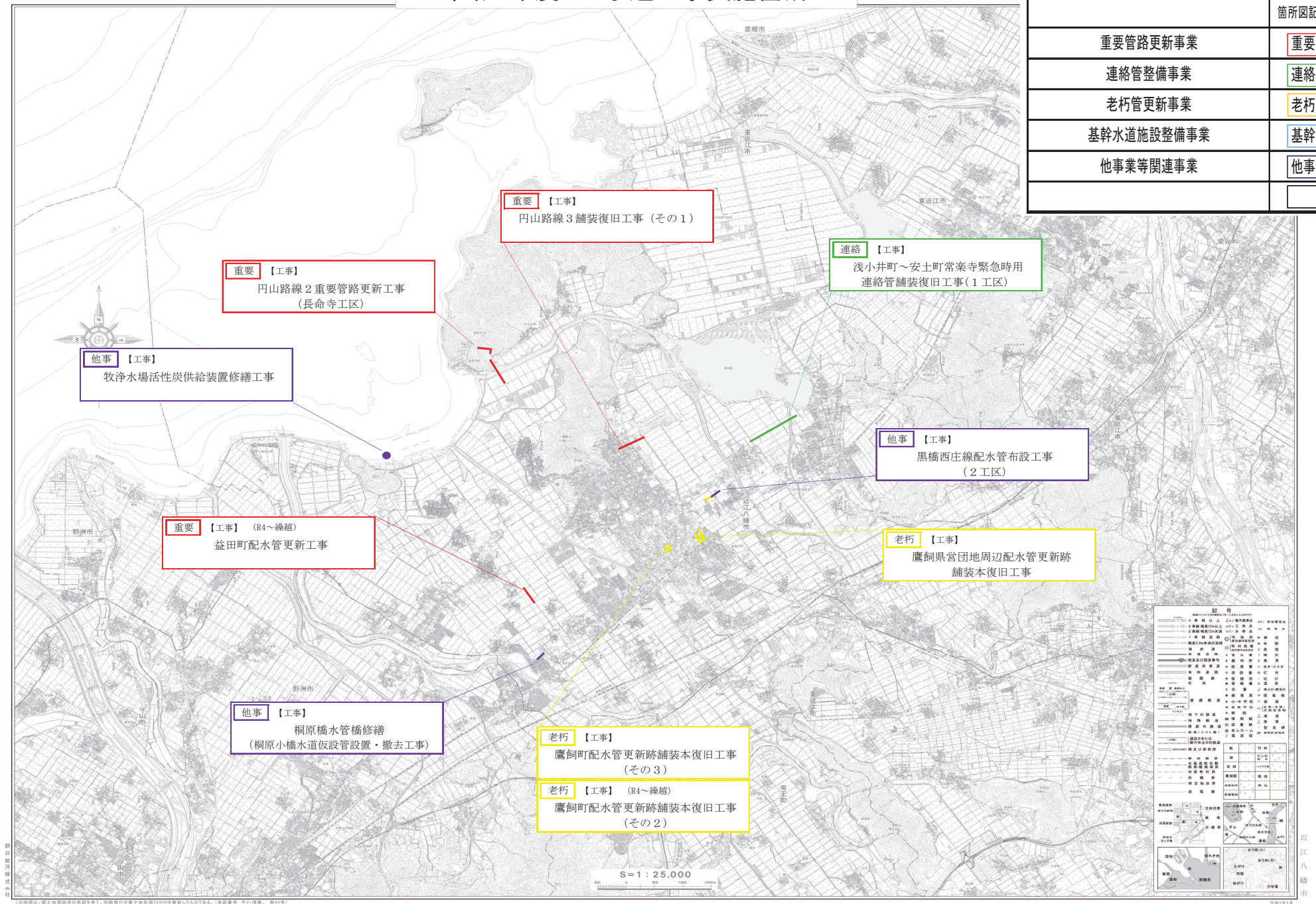
事業所職員のための修理は除く

令和5年度 上水道工事実施箇所

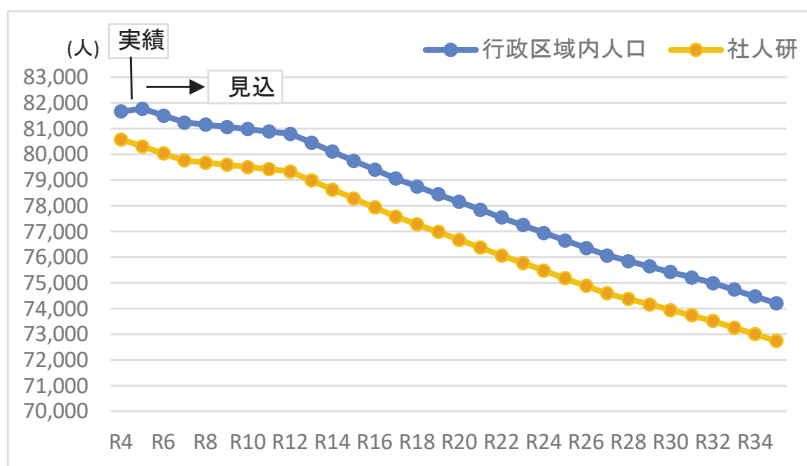
【記号凡例】

資料3-1

	箇所図記号
重要管路更新事業	重要
連絡管整備事業	連絡
老朽管更新事業	老朽
基幹水道施設整備事業	基幹
他事業等関連事業	他事



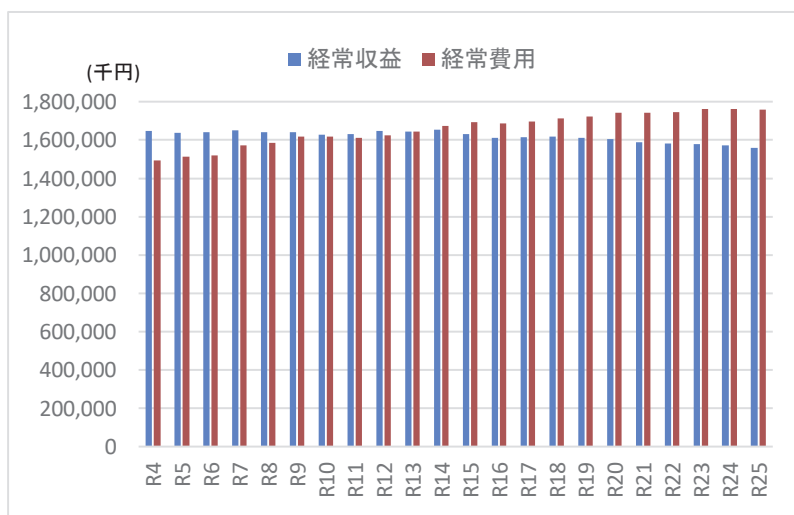
①人口の推定



国立社会保障・人口問題研究所(社人研)の推計値(オレンジ色)、市総合計画および実績値との誤差を考慮し算定した人口推定。併せて開発、大型マンション建設等による増加を一定加味しています。

行政区内人口の減少は社人研の推計値に比べやや緩やかではあるが、R15年頃には80,000人を割り、R32年以降は75,000人以下と減少の一途をたどっていく見込み。

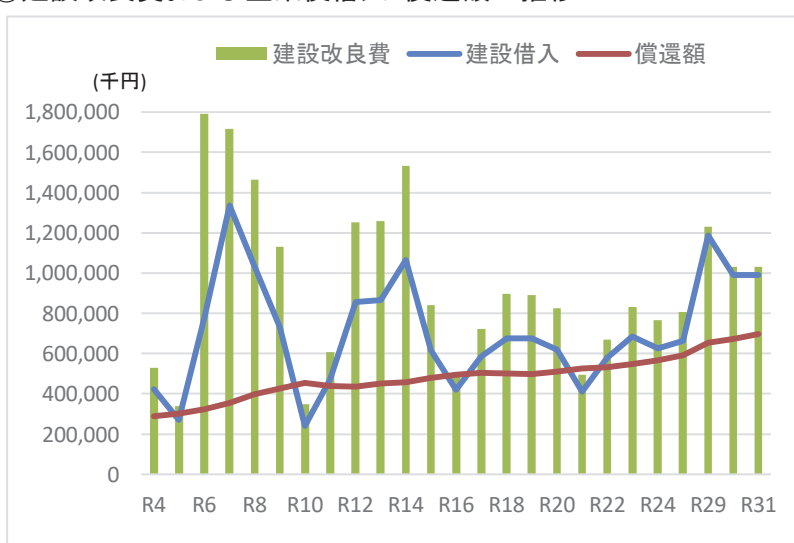
②収益・費用の見通し



①の人口減少に伴って収益も減少していく見込み。それに対して、費用については動力費の上昇や減価償却費の増大によって増加していき、R14~15年頃には赤字となる。

それまでの間に料金の改定を検討・実施していく必要がある。

③建設改良費および企業債借入・償還額の推移

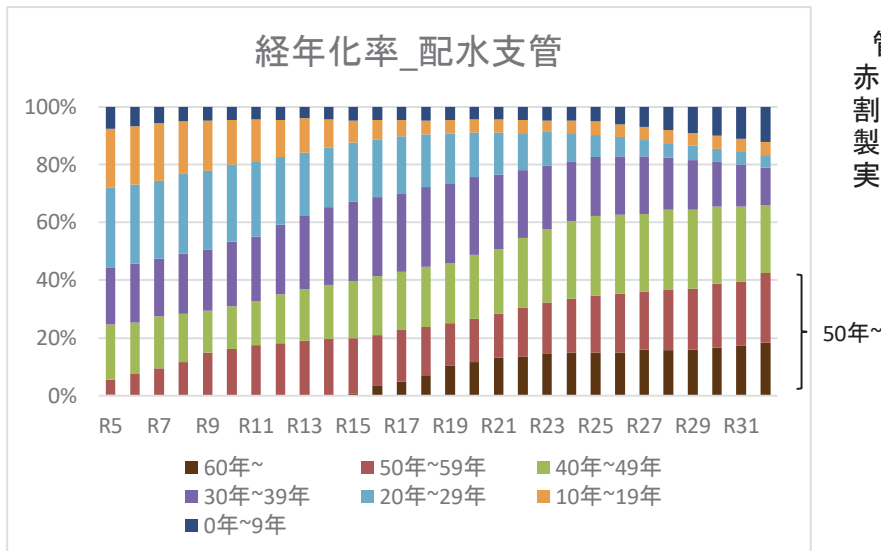


建設改良費は配水池や重要管路の耐震化、老朽管の更新を行っていく必要があり、10億円規模ペースの費用が想定される。

企業債についても一定割合で借入を行っていくため、同様に推移する。

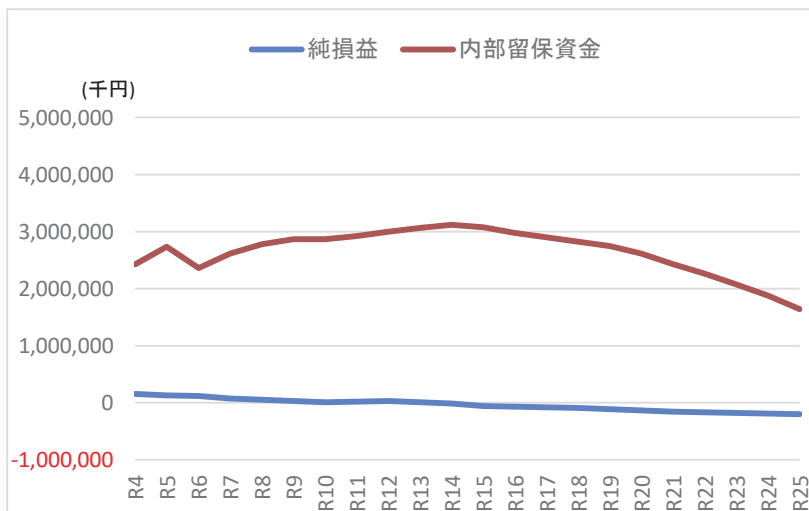
※事業進捗、計画等の修正により平準化が図られる見込み。

⑤管路の経年化率の見込み



管路の老朽化具合を表すグラフ
赤色・茶色で示す50年以上経過した管の割合が増加していく。ただし、近年になって製造された管は耐久性が上がっており、実耐用年数は伸びていると考えられる。

⑥純損益・内部留保資金の見通し



内部留保資金については、補助金や繰入金等財源確保を考慮し、一定期間の企業債借入を増やしているため、緊急時の資金繰りを考慮した10億円確保の目安を上回っている。

企業債、利息の返済額や収支状況、事業規模等を踏まえ内部留保資金の検討が必要となる。

水道事業経営戦略の改定について

○ 経営戦略改定の背景及び目的

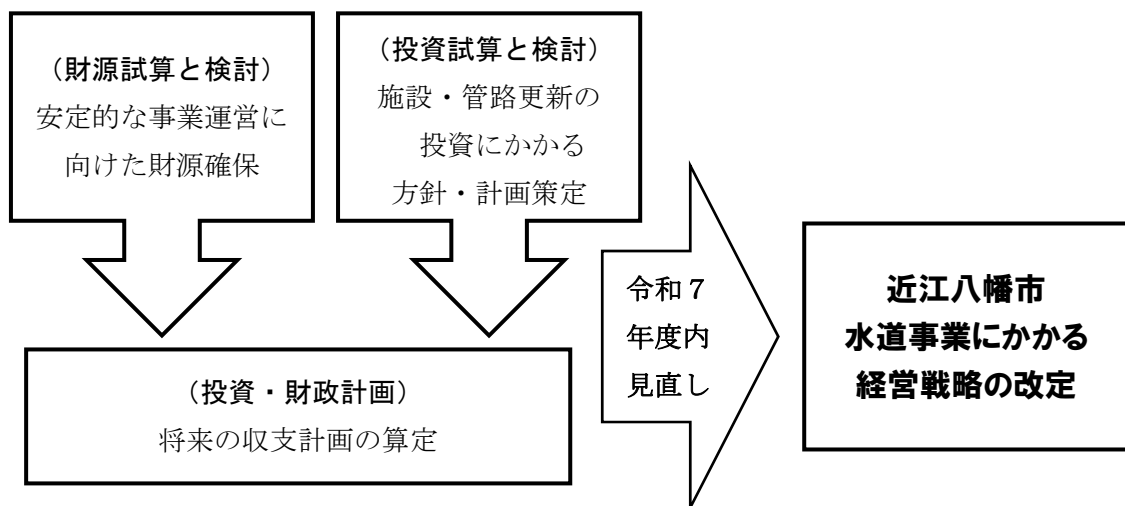
水道事業に関しては、利用者に安全な水を供給できるよう施設の維持管理を進めるとともに管渠等の整備に取り組んでおります。

これまで進めてきたアセットマネジメントにおいて、収入に関しては、将来的な少子高齢化の進展と節水機器等の普及による原単位の減少による使用料収入の減が見込まれます。

また、支出に関しては、耐用年数を過ぎた老朽化する施設・管路の更新や重要管路・施設の耐震化の推進が必要であり、投資と安定的な運営に向けた財源確保について考慮しなければなりません。

これらのことから、アセットマネジメント計画と共に水道ビジョン2019を経営戦略として策定し、今後の水道事業にかかる健全経営の持続に向けて、維持管理方針や施設更新等の投資方針、安定的な事業運営に向けた財源確保、及びこれらを基にした将来の収支計画として水道事業を経営しております。

今回、令和7年度内に経営戦略の改定が必要となることから令和6年度から準備に取り組めます。



令和6年度

経営戦略改定の準備スケジュール（案）

項目	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
委員会 進捗状況・経営状況		●				●	
投資・財政計画作成							
水道利用者 アンケート実施							

令和7年度

経営戦略の改定スケジュール（案）

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
素案作成												
繰入金等 にかかる 庁内協議												
委員会					●			●			●	
原案決定												
議会説明												
パブコメ												
経営戦略 改定												

「水道事業に係る利用者意識調査」の実施について（案）

1. 調査目的

近江八幡市の水道事業の指針となる水道経営ビジョンの改定にあたり、今後も市民に安心していただける水道事業を継続していくため、水道利用者の使用状況、家庭での取組、水道事業に対する意見等の調査を実施します。

これまでから市水道事業所では安全・安心な水道水の供給に向け取組を進め、併せて広報等の充実を行ってきましたが、これらに対する市民意識・理解度・周知度等の現状を把握するために実施します。

また、家庭での節水状況・水道水の使用実態を把握することで今後の水量予測等の参考資料とするとともに、水道経営ビジョンの改定において今後の事業展開について、調査結果を基礎資料として市民意見に留意して検討してまいります。

アンケート結果については、取りまとめ後に水道事業運営委員会に調査結果概要を報告するとともに、市ホームページへの掲載により市民周知を図ります。

2. 調査対象

市内 2, 500 世帯（一般家庭世帯）

（前回 29 年 8 月実施

送付数 2,500 通、有効回答数 1,286 通、回答率 51.4%）

【調査対象数を 2500 世帯とした根拠】

対象者約 35000 世帯について、95%信頼度、集計結果の誤差 3%を見込んだ場合のアンケート必要数 … 1036 通

回答率 50%、有効回答数 1250 を想定するとこの数値を上回っていることから、2500 世帯の抽出が適当と考えています。

3. 調査手法

- ・無作為抽出
- ・郵送による配布・回収
- ・無記名、多肢選択式、一部記述式

4. 調査期間

概ね 1 ヶ月程度

水道事業に係る利用者意識調査 調 査 票 （案）

今回送付いたしました、「水道事業に係る利用者意識調査」につきましては、近江八幡市水道事業の指針となる水道ビジョンの改定にあたり、水道水のご利用状況や水にかかわるご家庭等での取組、水道事業に関するご意見などについて調査を行うため、水道利用者の皆さまの中から無作為に抽出しております。

市民のみなさまに安心していただける水道事業をこれからも継続していくためにも、みなさまのご意見を反映させていただきたいと考えておりますことから、意識調査の回答にご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、この調査票につきましては、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れていただいて、令和 年 月 日までにご返送（切手不要）くださいますよう、お願いいたします。

記入上のお願い

- ①回答は、この調査票に直接記入してください。
- ②回答は、記載している項目から1つ選び○で囲む場合、該当する項目を複数
選び○で囲む場合がありますのでご注意ください。
- ③水道事業に対するご意見・ご要望がありましたら、Q 2 7 に記載欄を設けてい
ますので、ご自由にお書きください。

調査に関するお問い合わせは
近江八幡市水道事業所 上下水道総務課
経営グループ 担当者：()
TEL 3 6 - 5 5 3 4
FAX 3 3 - 1 9 3 3

■あなたのご家庭について

Q 1 : あなたの家族構成についてお答えください。

該当箇所に人数を記入してください。

また、この意識調査を記入されている方の該当箇所に、○をつけてください。

年 齢	男		女	
	人数	意識調査 記入者	人数	意識調査 記入者
20 歳未満	人		人	
20 歳代	人		人	
30 歳代	人		人	
40 歳代	人		人	
50 歳代	人		人	
60 歳代	人		人	
70 歳代以上	人		人	

家族構成・年代により、風呂・シャワーの使用実態や、洗濯回数等に差が見られると考えられることから、それぞれの項目においてクロス分析を行うために項目を設定。

意識調査記入者に関しては、上記と同様に年代・性別によって水に対する意識が相違すると考えられることから設定

Q 2 : あなたのお住まいの形態をお答えください。

あてはまるものを1つ○で囲んでください。

- | | | |
|---------------|---------------|--------|
| 1. 一戸建て（店舗なし） | 2. 一戸建て（店舗つき） | |
| 3. 集合住宅 | 4. 寮 | 5. その他 |

Q 1 と同様に住まいの形態により、風呂・シャワー等の使用実態等に差が見られると考えられることから、クロス分析を行うために項目を設定。

Q 3：あなたが近江八幡市にお住まいの期間をお答えください。

あてはまるものを1つ○で囲んでください。

1. 1年以下 2. 1年～5年 3. 6年～10年
4. 11年～20年 5. 21年以上

長年近江八幡市に居住する使用者と、近年の転入者において、意識差が生じているか、確認するために項目を設定。

■水道水について

Q 4：あなたのご家庭では日常生活にどのような水をお使いですか。

あてはまるものを1つ○で囲んでください。

1. 水道水のみ
2. 井戸水のみ
3. 水道水と井戸水の併用

アンケート回答者における井戸水使用者の割合を把握するとともに、水に対する意識差の有無を確認するために項目を設定。

Q 5：「飲用水」に水道水を使っていますか。

最もあてはまるものを1つ○で囲んでください。

1. 水道水をそのまま安心して飲用水として使用している
2. 水道水を信用しているが、浄水器等を通してから飲用水として使用している。
3. 水道水にどちらかと言えば不安があるので、飲用水として使用しておらず、ペットボトル水、ウォーターサーバー等を使用している。
4. 飲料水として井戸水を使用している。

水道水を飲料水とする割合と、水道水に対する信頼感の割合を把握するために項目を設定。

Q 6 : Q 5 で 1 . とお答えの方に伺います。水道水をそのまま飲んだときどのように思われますか。

あてはまるものを 1 つ ○ で囲んでください。

- 1 . おいしいと思う
- 2 . なんとも思わない (ふつう)
- 3 . おいしくないと思う
- 4 . その他 ()

利用者において、水道水の安心感とともに「水のおいしさ」を感じるか状況を把握するために項目を設定。

Q 7 : Q 5 で 2 . 3 . 4 . とお答えの方に伺います。水道水をそのまま飲んでいない理由について、あてはまるものを すべて ○ で囲んでください。

- 1 . おいしくないから
- 2 . 塩素臭・カルキ臭がするから
- 3 . 安全性 (水質) に不安があるから
- 4 . カビ臭いから
- 5 . 貯水槽 (受水槽) の汚れが心配だから
- 6 . 水源である琵琶湖の水質が心配だから
- 7 . 塩素などの薬品で消毒されているから
- 8 . 水道管の錆や汚れが心配だから
- 9 . その他 ()

水道水をそのまま飲料水としない利用者において、その理由を把握し、安心が感じられる水道水を目指すために必要な視点を把握するために項目を設定。

Q 8：水道水は法律により塩素消毒して給水していますが、塩素臭が気になることがありますか。あてはまるものを1つ○で囲んでください。

1. いつも気になる
2. ときどき気になる
3. 気にならない
4. その他 ()

水道水の塩素臭が気になる方についても、安全な水道水供給に向け法律に基づき塩素消毒していることの周知を図るとともに、気になる割合を把握するために項目を設定。

■ご家庭での水に対する取り組み

Q 9：ご家庭では節水に関してどのように取り組んでおられますか。あてはまるものをすべて○で囲んでください。

1. 蛇口はこまめに閉めている
2. 風呂の残り湯を洗濯や散水に活用している
3. 雨水タンクなどにより雨水を活用している
4. 節水タイプの機器（洗濯機・食器洗い機・トイレ等）を使用している
5. 特に何もしていない
6. その他（ ）

近年の一人当たり水道使用量の減少に関し、その要因を把握するために項目を設定。

Q10：ご家庭では、日常から地震などの災害に備えて飲用水や生活用水を蓄えていますか。あてはまるものをすべて○で囲んでください。

1. ポリタンクなどに水道水をくみ置いている
2. 市販のペットボトルの水などを備蓄している
(おおまかな備蓄量を記入ください…2リットルペットボトル _____ 本程度)
3. 何もしていない
4. その他()

災害時に応急給水等の対応を実施するにあたり、早期の対応が困難である場合も想定されることから家庭での対応を促すとともに、災害時の対応策をまとめた計画の策定に向けて実態を把握するために項目を設定。

■ご家庭における水使用状況について

Q 1 1 : ご自宅では入浴をどれくらいの頻度でされますか。

あてはまるものを1つ○で囲んでください。

1. 毎日 2. 週3回以上 3. 週1～2回
4. シャワーのみ利用 5. 自宅でお風呂を使わない

Q 1 2 : ご自宅の洗濯機で洗濯する頻度はどれくらいですか。

あてはまるものを1つ○で囲んでください。

1. 毎日 2. 週3日以上 3. 週1～2日 4. 自宅で洗濯しない

家庭における入浴・洗濯における水道水の使用実態を把握し、年代別にクロス分析を行うことで今後の水量予測の参考とするために項目を設定。

■断水等について

Q 1 3 : 地震などの災害時に水道が断水した場合、あなたは、どの程度の期間、断水に対応できると考えますか。あてはまるものを1つ○で囲んでください。

1. 1日 2. 2～3日 3. 4～10日 4. 11日以上
5. 1日も対応できない

Q10 と併せて災害時に応急給水等の対応を実施するにあたり、早期の対応が困難である場合も想定されることから家庭での対応を促すとともに、災害時の対応策をまとめた計画の策定に向けて実態を把握するために項目を設定。

■広報について

Q 1 4 : 近江八幡市では、定期的に水道水の水質検査を実施しており、その結果を市のホームページで公表していますが、ご存じでしたか。
あてはまるものを1つ○で囲んでください。

1. 知っていた 2. 知らなかった

水質検査結果を周知することで、安心感の向上に努めていることについて周知を図るとともに、現在の周知状況を把握するために項目を設定。

Q 1 5：定期的水質検査結果の公表について、どのように思われますか。

あてはまるものをすべて○で囲んでください。

- | | |
|-------------|-----------------|
| 1. 安心感が増す | 2. 検査結果が理解できてよい |
| 3. あまり興味がない | 4. 市が管理していればよい |
| 5. その他（ | ） |

Q 1 4 と併せて水質検査結果を周知することで、安心感の向上に努めていることについて周知を図るとともに、検査結果公表のあり方を考慮する基礎資料とするために項目を設定。

Q 1 6：水道に関してお客様に知っていただくため、広報活動を行っております。このことについて、それぞれあてはまるものを○で囲んでください。

①市広報〔特集（令和 年 月 日号）、水道週間、水道凍結防止等の記事〕

- | | |
|-------|----------|
| 1. 見た | 2. 見ていない |
|-------|----------|

②牧浄水場見学会

- | | |
|------------|------------------|
| 1. 行った事がある | 2. 行っていないが回覧等は見た |
| 3. 知らない | |

③水道週間（毎年6月1日～7日）の市役所1階ロビー展示

- | | |
|------------|------------|
| 1. 見たことがある | 2. 見たことはない |
|------------|------------|

④市水道事業所のホームページ

- | | |
|------------|------------|
| 1. 見たことがある | 2. 見たことはない |
|------------|------------|

水道に関する広報活動の周知状況を把握し、今後の広報のあり方を検討する材料とするために項目を設定。

Q17：水道について、もっと良く知りたいと思うものは何ですか。

特に知りたいものを3つ〇で囲んでください。

1. 水道料金・メーター検針について
2. 水源について
3. 水道水の水質・安全性
4. 浄水場のしくみ
5. 水道工事の内容・状況
6. 災害対策への取り組み
7. 経営状況
8. 節水について
9. その他（ ）

広報活動において、重点化すべき内容を把握し、今後の広報のあり方を検討する材料とするために項目を設定。

■水道料金について

Q18：水道事業の運営に必要な経費の大部分は、お客様からいただく水道料金でまかなっていることをご存知でしたか。あてはまるものを1つ○で囲んでください。

1. 知っていた 2. 知らなかった

水道料金が運営経費として使用されていることの周知を図るとともに、現在の周知状況を把握するために項目を設定。

Q19：今までに水道料金表をご覧になったことがありますか。（ホームページでも公表）あてはまるものを1つ○で囲んでください。

1. 見たことがある 2. 見たことがない

検針お知らせ票において、各期の水道請求額は知らせているが、その算出根拠に関する周知状況を把握するために項目を設定。

Q20:水道料金は「基本料金」と「水量料金」で構成されていることをご存知ですか。
あてはまるものを1つ○で囲んでください。

1. 知っていた 2. 知らなかった

Q19と併せて算出根拠に関する周知状況を把握するとともに、水量が少ないケースにおいても基本料金が必要であることを周知するために項目を設定。

Q 2 1 : 現在の水道料金についてどのように感じておられますか。
あてはまるものを1つ○で囲んでください。

1. 安い
2. どちらかといえば安い
3. 妥当である
4. どちらかといえば高い
5. 高い

都市部と比較すると水道料金が低いとの意見もあることから、市の居住年数とクロス分析して市民の水道料金に対する意識を把握するために項目を設定。

■サービス対応について

Q 2 2 : 窓口等でのサービスについて、どのと思われますか。「満足」～「わからない」の6つの中から、あてはまる番号をそれぞれ1つ〇で囲んでください。

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない
電話での職員の対応	5	4	3	2	1	0
窓口での職員の対応	5	4	3	2	1	0
検針員の検針・点検の際の対応	5	4	3	2	1	0
道路などでの水道工事での対応	5	4	3	2	1	0
サービスについての総合評価	5	4	3	2	1	0

水道事業のサービスに対する評価を把握し、今後のお客様対応の向上に向けた対応検討の材料とするために項目を設定。

■水道事業について

Q 2 3 : 近江八幡市の水道水は、法律で定められた水質基準に適合した安全な水ですが、水道水の水質（味、におい等）をより良くすることについて、どのようにと思われますか。あてはまるものを1つ〇で囲んでください。

1. 水道料金が多少上がっても、できるだけ早くより良くすべきである
2. より良くすべきと考えるが、水道料金への影響をできるだけ抑えるように、時期は多少遅れてもかまわない
3. 法律の水質基準が守られていれば、今のままでよい
4. わからない

水道水の水質向上への投資に関し、水道料金への影響を考慮して時期等を勘案する検討材料とするために項目を設定。

Q 2 4 : 地震等の災害時にも水が供給できるように今後も地震等の災害に強い水道施設づくりを進めていきたいと考えていますが、この事業をどのように思われますか。あてはまるものを1つ○で囲んでください。

1. 水道料金が多少上がっても、できるだけ早く取り組むべきである
2. 取り組むべきと考えるが、水道料金への影響をできるだけ抑えるように、時期は多少遅れてもかまわない
3. 対策の必要はない

災害時の水道供給の継続に向け耐震化対応を進めていくなどの投資に関する利用者の意識を把握するために項目を設定。
--

Q 2 5 : 水道水の安心・安定供給のため、老朽化した水道管や浄水場等の更新を継続して行っていきたいと考えていますが、今後どのように施設の更新に取り組んで行くべきと思われますか。あてはまるものを1つ○で囲んでください。

1. 水道料金が多少上がっても、万全な安定給水体制を確保するために、できるだけ早く更新すべきである
2. 更新すべきと考えるが、水道料金への影響をできるだけ抑えるように、時期は多少遅れてもかまわない
3. 対策の必要はない

老朽管路・施設の更新などの投資について、財政計画を立案する際の収支バランスを考慮するために項目を設定。

■ 今後に期待することについて

Q 2 6 : これからもお客様に安心して水道を使っていただけるように努力してまいりますが、近江八幡市の今後の水道事業に期待することについて、あてはまるものを3つまで○で囲んでください。

1. 安全でおいしい水を供給してほしい
2. 地震や災害に強い水道施設づくりをしてほしい
3. 道路敷地等の漏水修理は、迅速に対応してほしい
4. 工事などによる断水を少なくし、にごり水が出ないようにしてほしい
5. 水道についての情報提供など、お客様サービスを充実してほしい
6. 水道経営の効率化に取り組んでほしい

水道経営ビジョンの改定に当たり、重点化項目を検討する際に、市民意見を反映したものとするために項目を設定。

Q 2 7 : 水道事業に対するご意見・ご要望がありましたら、ご記入ください。

(記入欄)

意識調査には項目として提示されていないが、市民からの率直な意見を聴取することにより、水道経営ビジョンの改定などにおいて、今後の水道事業運営の参考とするために項目を設定。

お忙しい中、意識調査にご協力くださいます、誠にありがとうございます。

近江八幡市水道事業所におきましては、お客様からいただきました貴重なご意見を活かして、これからもより良い水道サービス向上に努めてまいります。

なお、この調査票につきましては、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れていただき、令和 年 月 日までにご返送（切手不要）くださいますよう、お願いいたします。